

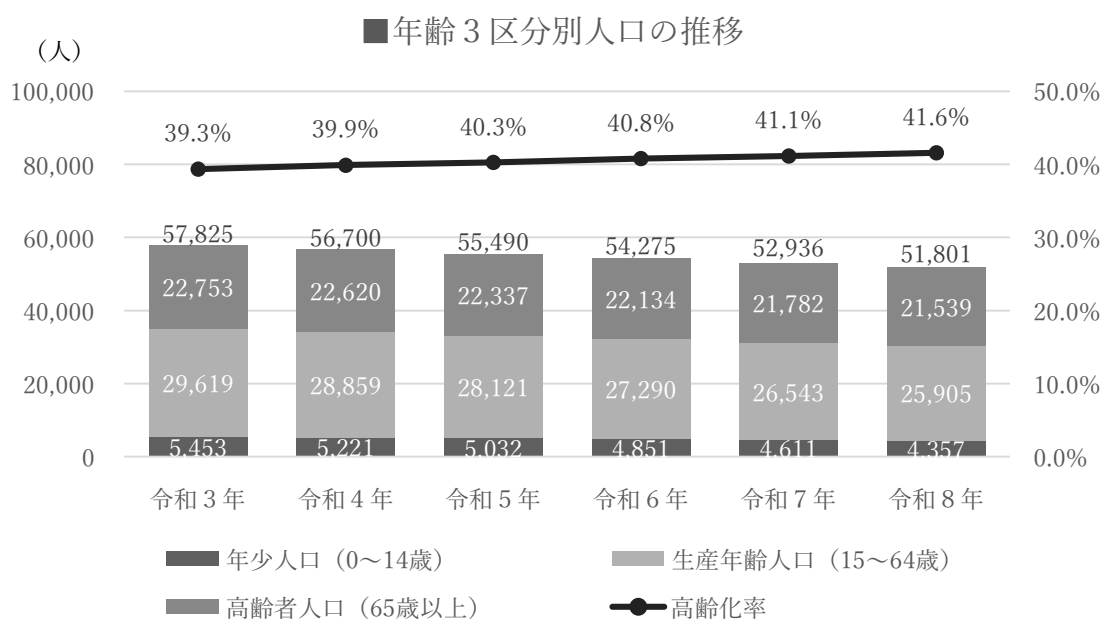
障がいのある人を取り巻く現状

1 人口・世帯

(1) 人口の状況

本市の人口は、令和8年4月1日現在で 51,801 人です。減少傾向で推移しており、令和3年から令和8年の5年間で 6,024 人減少しています。

年齢区分別にみると、全区分において一貫して減少傾向で推移していますが、高齢化率は増加傾向にあります。

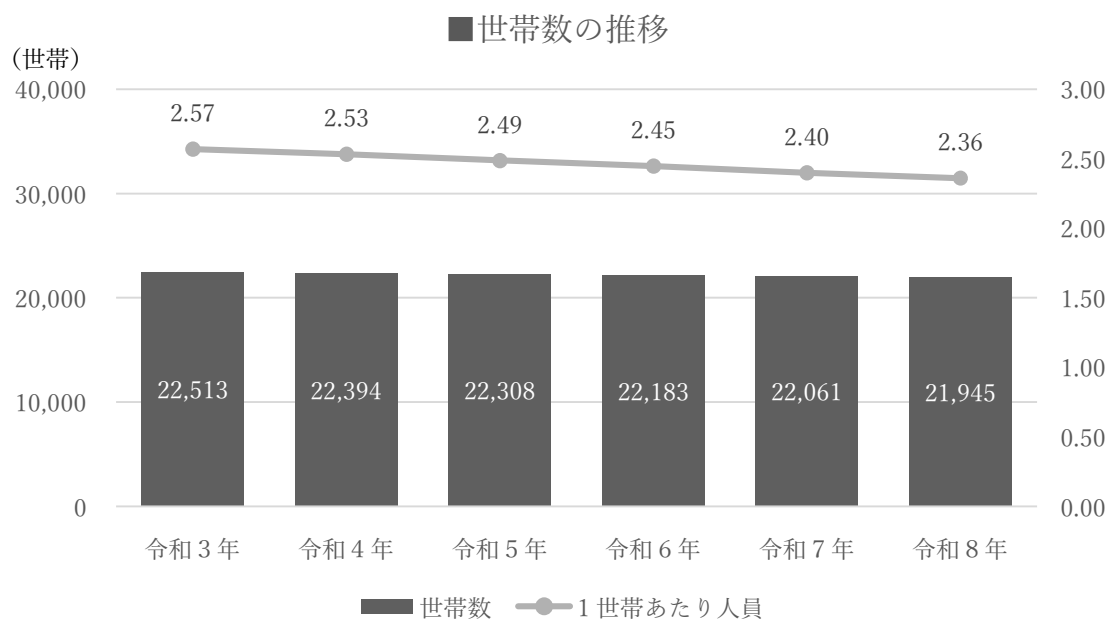


資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

(2) 世帯の状況

本市の世帯数は、令和8年4月1日現在で 21,945 世帯となっており、一貫して減少傾向で推移しています。

1 世帯あたり人員も減少傾向にあり、令和3年の 2.57 人から令和8年には 2.36 人となっています。



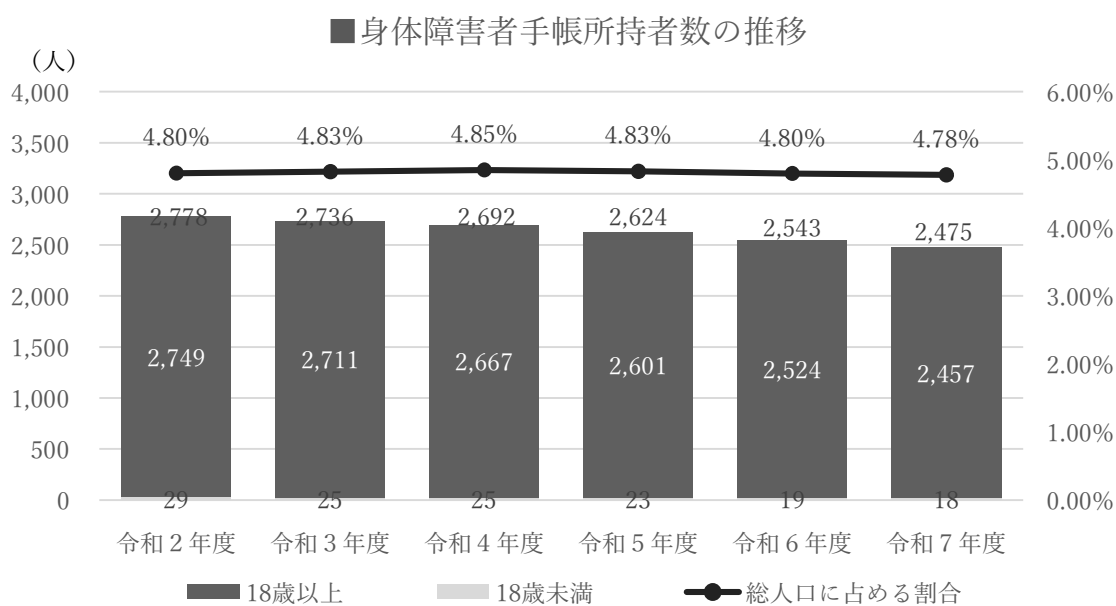
資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

2 障害者手帳等の状況

(1) 身体障がい者（児）の状況

本市における身体障害者手帳所持者数は緩やかに減少していますが、総人口に占める割合は、4.8%前後でほぼ横ばいに推移しています。

等級別及び種類別では、それぞれ増減が異なる傾向で推移していますが、等級別では「1級」、種類別では「肢体不自由」が、一貫して最も多くなっています。



(人)

種類別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1級	761	738	709	682	656	651
2級	423	416	409	405	391	376
3級	521	531	505	495	459	427
4級	653	654	661	655	660	657
5級	160	166	178	174	172	165
6級	260	231	230	213	205	199
合計	2,778	2,736	2,692	2,624	2,543	2,475

(人)

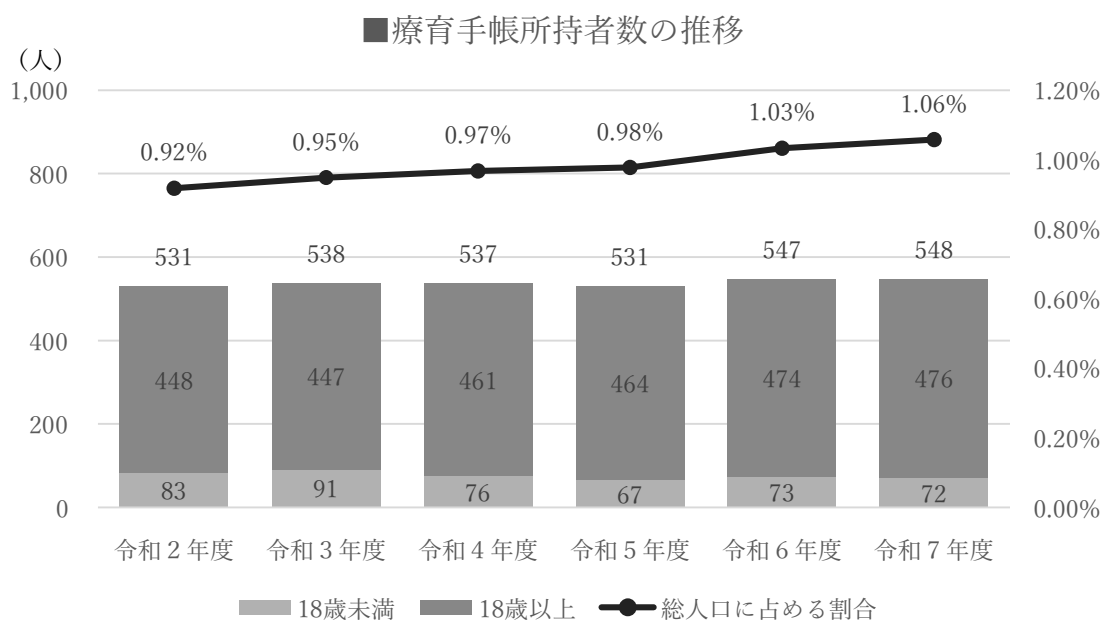
種類別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
視覚障害	137	146	155	154	151	144
聴覚・平衡機能障害	336	320	322	320	328	329
音声・言語・そしゃく機能障害	38	38	41	36	32	31
肢体不自由	1,525	1,473	1,439	1,396	1,321	1,264
内部障害	742	759	735	718	711	707
合計	2,778	2,736	2,692	2,624	2,543	2,475

資料：市福祉課（各年度末現在）

（２）知的障がい者（児）の状況

本市の療育手帳所持者数は、多少の増減をしながら、530～540 人台で推移しています。総人口に占める割合は 0.8～1.0% 台で推移しています。

等級別にみると、A（最重度・重度・中度かつ身体障害 1～3 級）所持者は 170～180 人台でほぼ横ばいに推移しており、B（中度・軽度）所持者は、340～370 人台となっています。



(人)

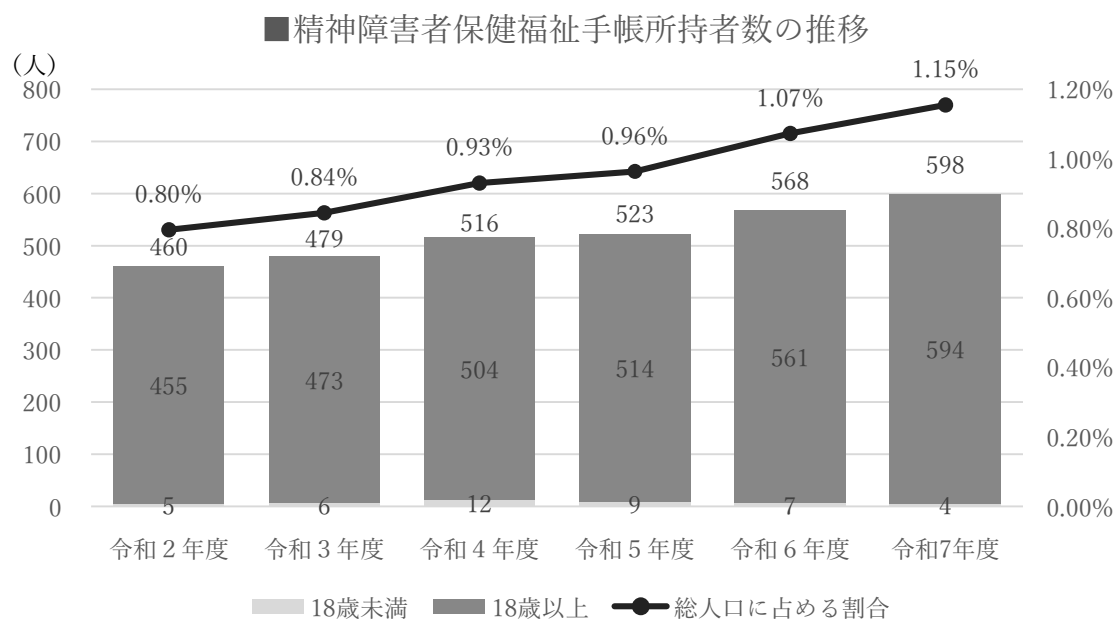
等級別	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
A	186	181	181	177	177	177
B	345	357	356	354	370	371
合計	531	538	537	531	547	548

資料：市福祉課（各年度末現在）

（３）精神障がい者（児）の状況

本市の精神障害者保健福祉手帳所持者数は、増加傾向で推移しています。したがって、総人口に占める割合は、令和２年度の 0.80％から令和７年度は 1.15％へ 0.35 ポイント上昇しています。

等級別では、「２級」が全体の約 8 割を占め、かつ、増加傾向となっています。



(人)

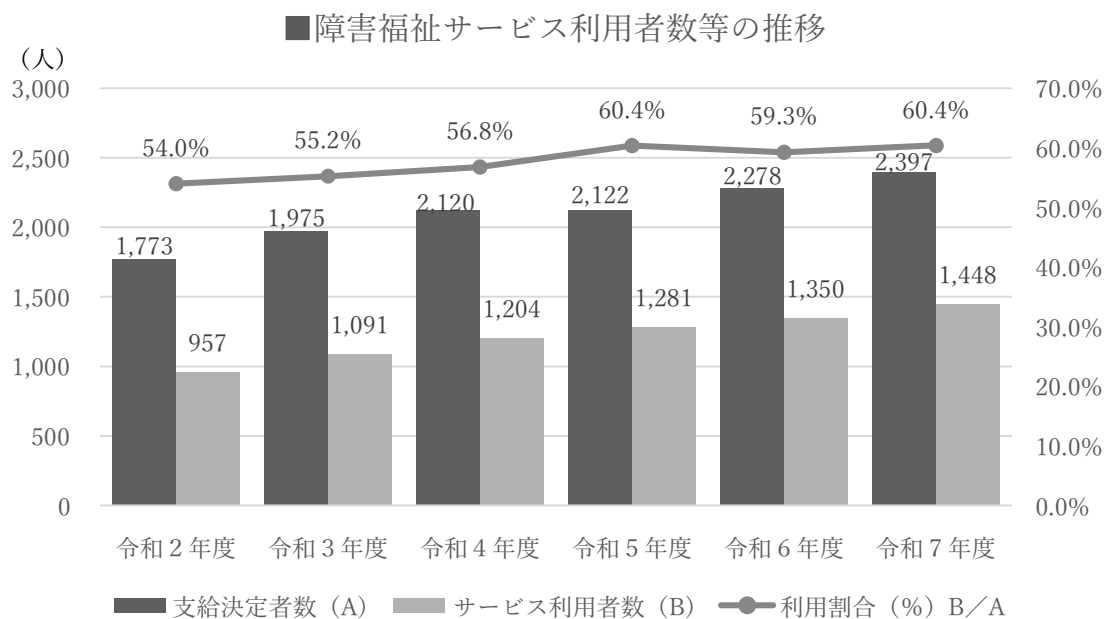
等級別	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
１級	51	49	47	41	43	39
２級	376	389	429	436	475	506
３級	33	41	40	46	50	53
合計	460	479	516	523	568	598

資料：市福祉課（各年度末現在）

3 障害福祉サービス利用者数等の推移

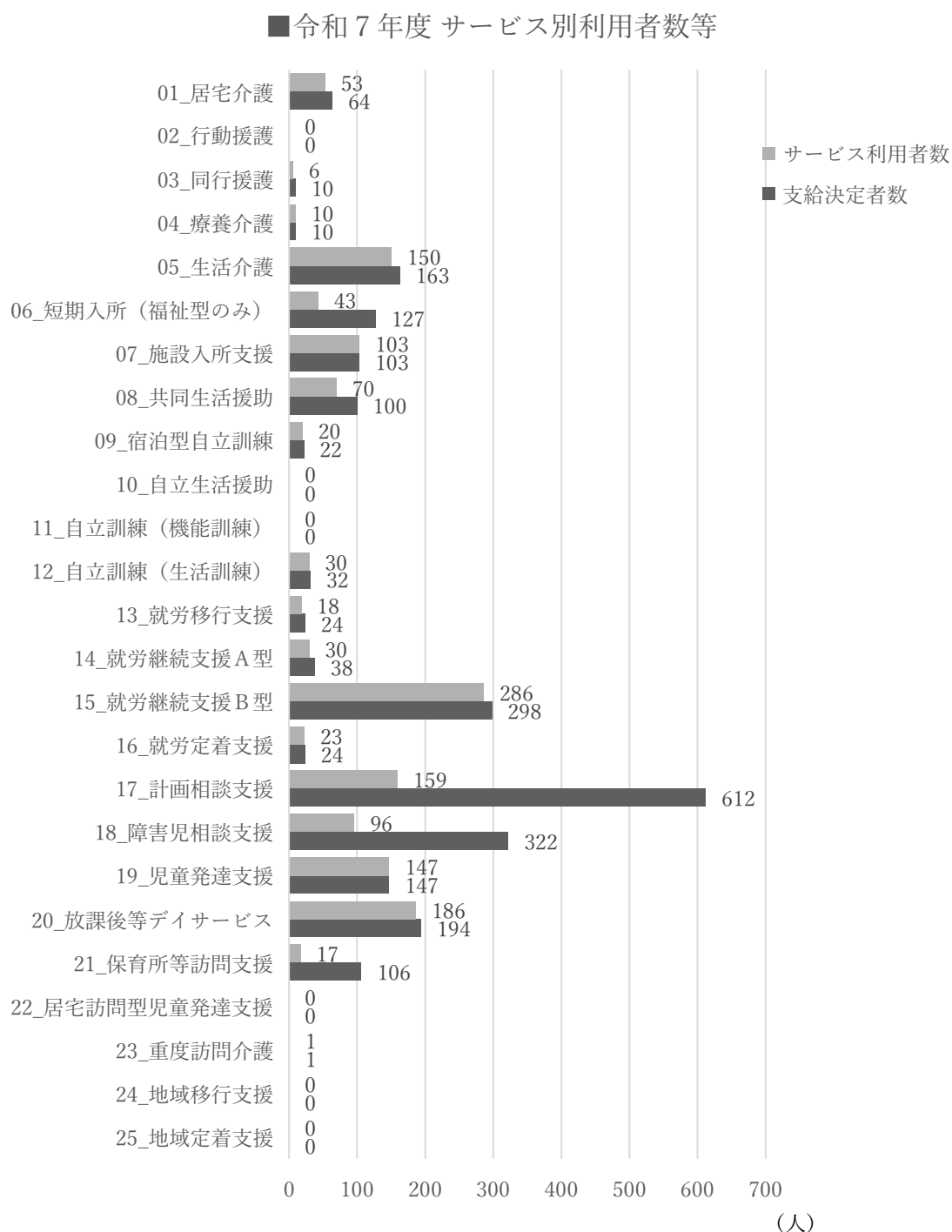
本市の障害福祉サービスについて、支給決定者数、サービス利用者数ともに顕著な増加傾向で推移しています。

支給決定者数に対するサービス利用者数（利用割合）は、54.0～60.4%でほぼ横ばいに推移しています。



資料：市福祉課（各年度末現在）

サービス別にみると、令和7年度のサービス利用者数は「就労継続支援B型」が286人で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が186人となっています。

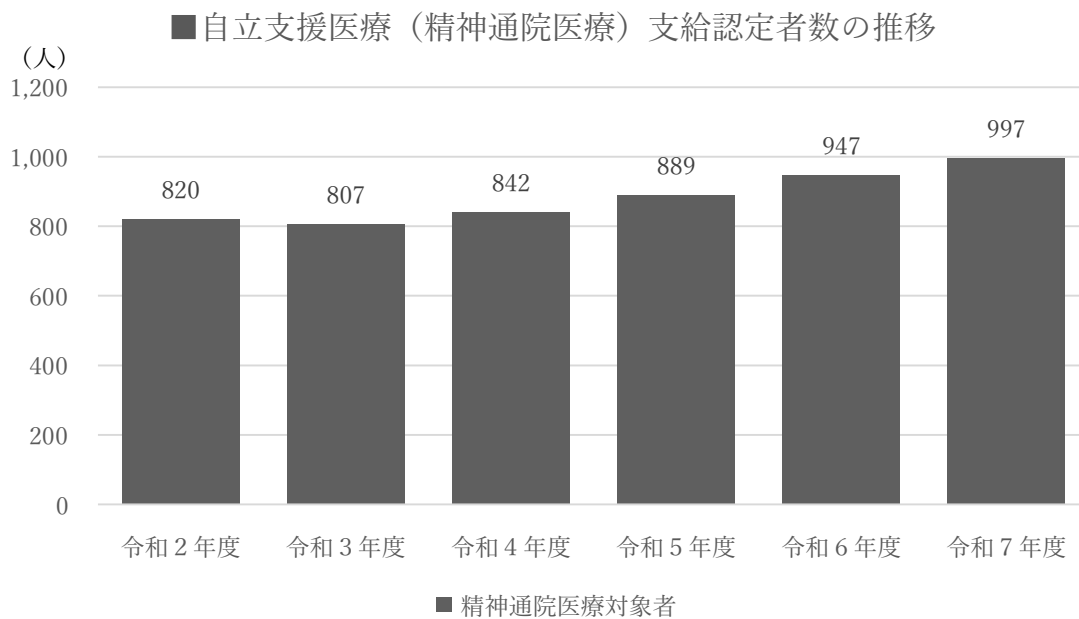


資料：市福祉課（各年度末現在）

※サービスの利用に必要な計画相談支援の支給決定者数は612人、児童の相談支援の支給決定者数は322人となっています。

4 自立支援医療（精神通院医療）支給認定者数の推移

本市の自立支援医療（精神通院医療）支給認定者数は、令和3年度に若干減少しているものの、概ね増加傾向で推移しており、令和7年度には997人となっています。

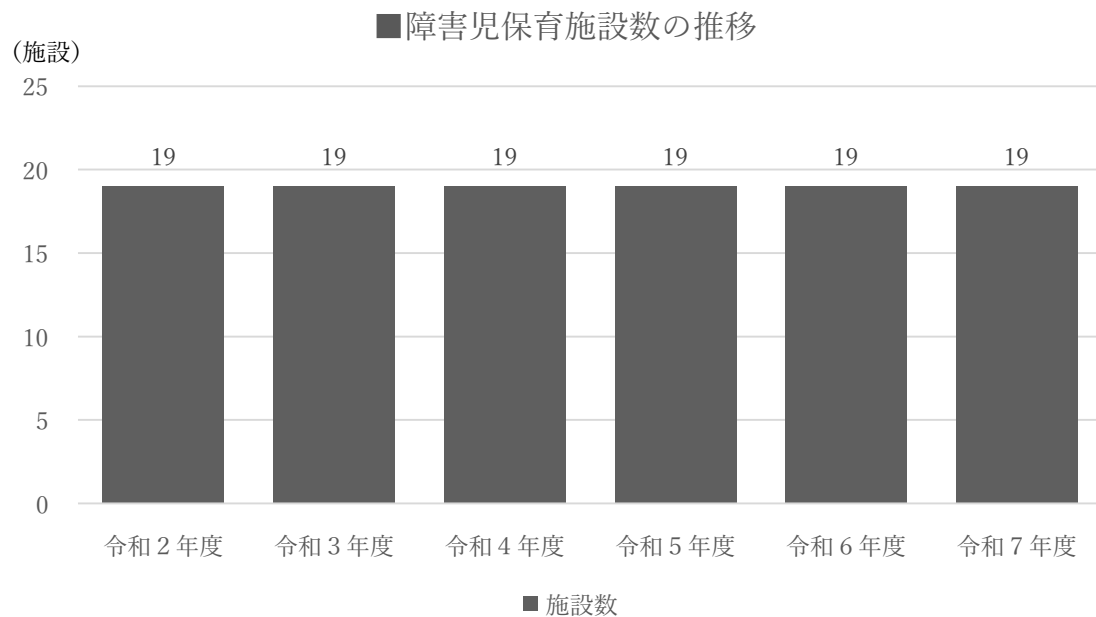


資料：村上保健所（各年度末現在）

5 障がい児の教育・保育の状況

(1) 障害児保育施設数の推移

本市では、拠点となる障害児保育施設としては、保育所1施設となりますが、発達に課題のある児童は市内全施設で受け入れています。総数は、19施設となっています。

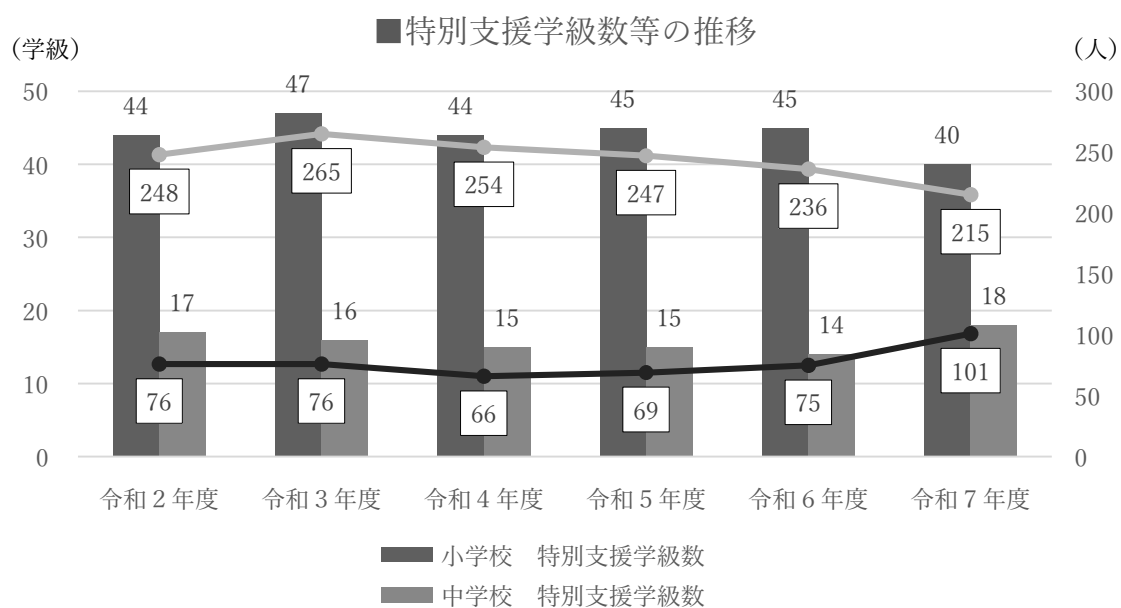


資料：こども課

（２）特別支援学級数等の推移

本市の小学校特別支援学級数は 40～47 で推移し、令和 7 年度は 40 学級となっています。中学校特別支援学級数 14～18 で推移し、令和 7 年度は 18 学級となっています。

また、特別支援学級児童数は 215～265 人で推移し、令和 7 年度は 215 人となっています。特別支援学級生徒数 66～101 人で推移し、令和 7 年度は 101 人となっています。

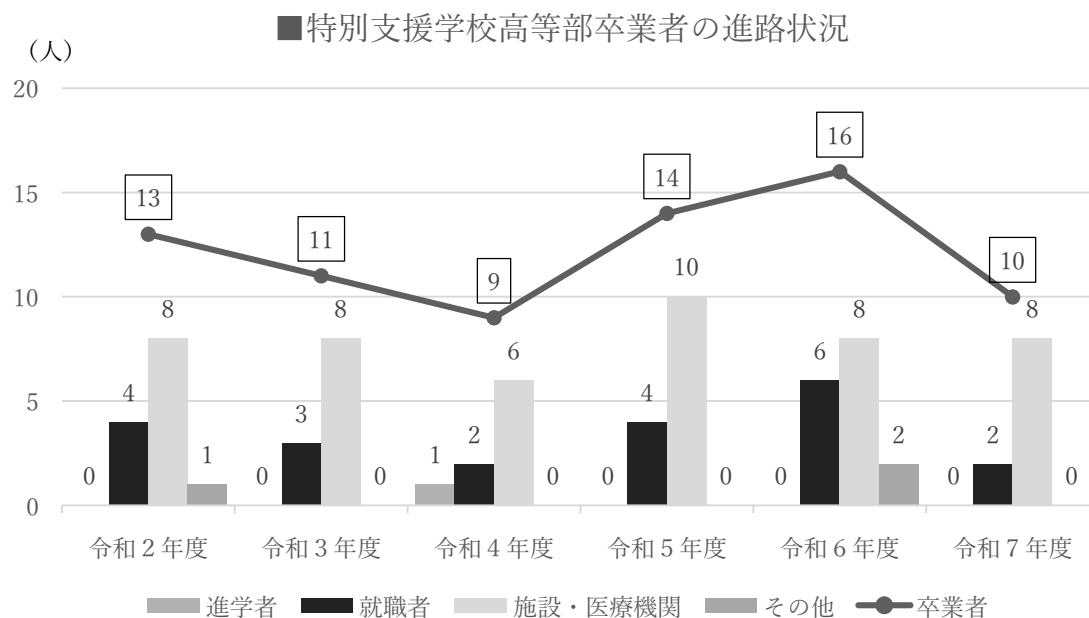


	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
小学校 特別支援学級数	44	47	44	45	45	40
特別支援学級児童数	248	265	254	247	236	215
中学校 特別支援学級数	17	16	15	15	14	18
特別支援学級生徒数	76	76	66	69	75	101

資料：教育委員会

(3) 特別支援学校高等部卒業者の進路状況

本市の特別支援学校高等部卒業者の進路状況は、各年度とも施設・医療機関が最も多く6～10人、次いで就職者が2～5となっています。進学者は令和4年度の1人のみです。



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卒業者	13	11	9	14	16	10
進学者	0	0	1	0	0	0
教育訓練機関等	0	0	0	0	0	0
就職者	4	3	2	4	5	2
施設・医療機関	8	8	6	10	8	8
その他	1	0	0	0	2	0

資料：村上特別支援学校